

1. 件名：「玄海原子力発電所3，4号機及び川内原子力発電所1，2号機の地震等に係る新基準適合性審査（標準応答スペクトルの規制への取り入れに係る変更）に関する事業者ヒアリング(2)、(2)」

2. 日時：令和3年11月1日（月）13時35分～16時20分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者（※：テレビ会議システムによる出席）

原子力規制庁：内藤安全規制調整官、熊谷管理官補佐、海田主任安全審査官、谷主任安全審査官、西来主任技術研究調査官、磯田係員、呉統括技術研究調査官、田島技術研究調査官

九州電力株式会社：土木建築本部長 他6名※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

- ・玄海原子力発電所3号炉及び4号炉 標準応答スペクトルを考慮した評価の概要について
- ・玄海原子力発電所3号炉及び4号炉 標準応答スペクトルを考慮した地震動評価における地下構造モデルの設定について
- ・玄海原子力発電所 敷地地盤で得られた地震観測記録（資料集）
- ・川内原子力発電所1号炉及び2号炉 標準応答スペクトルを考慮した地震動評価における地下構造モデルの設定について（コメント回答）
- ・川内原子力発電所 敷地地盤で得られた地震観測記録（資料集）

時間	自動文字起こし結果
0:00:03	原子力規制庁の熊谷です。
0:00:05	それではこれから描け鉛直発電所及び先代原子力発電所についての
0:00:11	ヒアリングを始めていきたいと思います。それではよろしくお願いいたします。
0:00:18	九州電力のモトムラでございます。本日はよろしくお願いいたします。まず資料の確認ですけども、玄海につきましては、Dt001 回と概要版の改訂版、それと DtGTGA004、地下構造モデルの設定に関する資料、
0:00:37	それと、DtG005 の地震観測記録の資料集の仙台につきましては、BTS003 の地下構造モデルの設定に関するコメント回答資料、それとDTS、004 の地震観測記録の資料集、
0:00:55	ということで計五つの資料になります。お手元でございますでしょうか。
0:01:02	それではですね、玄海のほうからご説明をさせていただきます。
0:01:07	資料Dt001 回の概要版の資料にまずはなります。
0:01:13	9月29日のヒアリングにおきまして、基準地震動Ss-6と現行の基準地震動の包絡関係についてご質問がありましたので、改めてご説明させていただきます。
0:01:26	先日先日のヒアリングではですねこの資料で言いますと、開いていただきまして、7ページ。
0:01:35	になりますけども、こちら
0:01:38	と駆動軸の応答スペクトル図しか載せてませんでしたけども、今回8ページを追加しまして、加速度軸の応答スペクトルを図に示させていただいております。
0:01:51	こちら見ていただきますと、社会でますけども、周期0.07秒付近より長周期につきましては、水平鉛直ともにですね。
0:02:03	水色の
0:02:06	Ss-6につきましては、現行のSs-1から
0:02:13	すいません。
0:02:15	すみません、周期0で料金を長周期では水平鉛直ともにですね水色のSs-6は、黒線のSS-1に包絡されております。
0:02:27	次になりますけども周期0.03秒付近より短周期につきましては、水色の静水-6は、
0:02:36	現行のSs-1から5のうち、同一の基準地震動の水平方向鉛直方向の応答スペクトルに包絡されてません。
0:02:45	例えばですね、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:47	ごく短周期につきましては、NS方向とEW方向では緑のSs-4に包絡されておりますが、鉛直につきましては、紫色のですね、Ss-5に包絡されてます。
0:03:01	それと、先ほど言いました0.03秒付近と、0.07秒付近の間の周期体につきましては、一部の周期体においてSS-5に包絡されていないと。
0:03:15	というのがわかります。例えば紙高校と鉛直方向につきましては、緑のSsのほうに包絡されてるんですけども、NS方向では紫のSs-5のほうが小さい周期体がございまして、
0:03:32	先日のヒアリングでは、同一のSsに包絡されていない周期体としては、ごく短周期のところだけだというような御説明をしておりましたけども、先ほど示しました通り、0.03秒から0.07条-p
0:03:48	では、ちょこちょこつとですけども、包絡関係にない周期があると。
0:03:54	ということで、今回改めてご説明させていただいております。
0:04:00	概要版の修正箇所を改訂箇所については以上でございます。
0:04:15	はい、規制庁クマガエです。はい、その変更点わかりましたけど、続いて説明をお願いいたします。
0:04:24	はい。続きまして、
0:04:28	GTGA004を打ちまして、玄海のほうの地下構造モデルの設定についてご説明させていただきます。
0:04:36	開いていただきまして、2ページ目になります。こちら目次を示しております。流れとしましては、地下構造モデルの設定、それから地下構造モデルの精緻化したことによる特定指定の地震動への影響評価、
0:04:53	というような流れで御説明いたします。
0:04:56	最後に参考としてつけてますけども、資料中に引用しております。友沢ほか2019という。6運用してますけども、こちらの概要について簡単にまとめてございます。
0:05:09	ね開いていただきまして、3ページ目です。
0:05:13	オプトについては、許可の地下構造モデルの設定についてご説明しております。1許可では特定しての断層モデルの長周期体の理論的方法において、地下構造モデルを設定しております。旧値につきましては、右下に書いてますけども、この値をもとに設置
0:05:31	そうしたものは旨を記載しております。
0:05:35	で、4ページ目になりますけども、許可以降の敷地地盤の地震観測記録や、最新の技術的知見やデータを含めたですね、多面的な検討によりまして、地下構造モデルの精緻化を実施しております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:52	次ページ以降でこちら、①とか②と書かれてますけれども以下の、このような検討検証を行いまして、非常上等すべきとの考慮した地震動評価に用いる地下構造モデルを設定しております。
0:06:06	5 ページ目からが
0:06:09	敷地地盤の鉛直アレイ地震観測記録による検討及び検証について、示しております。
0:06:17	許可の審査以降、新たに 81 地震の観測記録を取得しまして、計 156 地震に基づいて検討を実施しております。
0:06:28	すみません。以前の御説明ではですね、警備 155 地震としてたんですけども、今回地震観測記録の資料集を作成するや合併再度地震観測記録を整理しましたところ、一つ自身が増えまして、計 156 地震と、
0:06:46	記載させて、
0:06:47	いただいております。申し訳ありません。
0:06:51	次の 6 ページですけども、許可審査における主な地震の観測記録に基づく宮中の同定結果を示しておりますが、
0:07:02	こちら辺りについてはですね、Q値で 4.7 程度となっております。具体的な検討については、一応このときの資料を 7 ページ目 8 ページ目でつけさせていただいております。こちらの検討結果を 6 ページで示したものにございます。
0:07:22	9 ページ目からが市長会以降の速記録を加えた 19 地震の観測記録を用いて伝達関数による地盤減衰の合計を実施しております。対象地震の選定に当たりましては、1%のときの審査と同様の観点で、
0:07:41	Aの場合とあるの適用範囲を参考にマグニチュード 5.4 以上信用距離 200km 程度以内の内陸地殻内地震を選定してございます。
0:07:54	で、ページ 10 ページになりますけども、この伝達パスによる地盤減衰の同定における解析条件を示してございます。
0:08:03	先ほどご説明しました。対象地震の選定、地震数については、その通り、記載しておりまして、三つ目のところですね、ターゲットする観測記録の伝達関数につきましては、19 地震の平均伝達関数としまして、
0:08:20	成分としましては、MACE方向、EW方向、UD方向、
0:08:25	いうの対象にしております。
0:08:28	観測記録の長さにつきましては 40 秒間を抽出して算出しております。
0:08:35	あとバンド幅につきましては 0.2Hzの
0:08:40	ある県道で平滑化しておりまして、同定の方法については、所管の地下構造モデルのA層厚密度AVSTPPを参照しまして、旧値を想定してございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:54	Q値につきましては、一番下書いてますけども、90、F0%増というので。よくやってるかと思えますけども、振動数依存でQ値を与えている。
0:09:06	というような解析条件になります。
0:09:12	次のページ、11 ページ。
0:09:15	もう右下んですね、地盤減衰の同定結果を示しております。
0:09:21	こちらにつきましては、励んでQ値は 6.3 程度というふうの結果として、なっております。
0:09:31	12 ページからはですね、今まで伝達関数による検討してましたけども、実施は干渉法による地盤減衰もついてということで、この試行につきましては地下構造モデルを用い済み、やれるということで、鉛直アレイ観測記録から直接ですね。
0:09:50	地盤減衰の推定可能な、この地震は感想をと。
0:09:54	いうものを用いて検討を実施しております。
0:09:58	具体的にはですね地中の観測記録には入社はと販社班は含まれておりまして、左下に示しております通り地表の観測記録に対して地中の観測記録をデコンプ保留者もしますと、右下に示しております通り入射角反射っていうのが分離されます。
0:10:17	この入射反対する話なんかの振幅の比率に基づいて、地盤減衰の推定を実施したと。
0:10:24	ということでございます。
0:10:26	13 ページにしますと、先ほどのですね、伝達関数の検討等も用いてました同じようにですね、19 地震の観測記録を用いて検討を実施しております。
0:10:39	地盤減衰の
0:10:41	推定に当たりましては、アンダーの 2004 による手法をもとに全地震のKakehiの平均と各地震の相関がよいものをピックアップして用いております。
0:10:53	14 ページにつきましては、先ほど伝達関数による検討の解析条件を示しておりましたけども、今回自身は干渉法ということで解析条件を示させてもらっております。
0:11:08	デコンプ利用者における対象地震の選定につきましては、その選定と時申請については伝達関数と同じになっております。
0:11:18	解析成分につきましては、Transverse成分を対象としております。
0:11:24	解析区間につきましては、騒ぐの 28 日ペーパーにつきましては、余談に 1 秒の最低ばをかけております。
0:11:35	続いて宮中推定につきましては、対象地震は、デコンプレッションの平均と相関が高い自信を開催期間につきましては、ピーク時間の

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:46	二倍、スムージングにつきましては回数型のパル全土でバンドかもは中心周波数で分解して 1.3 分の 1 から 1.3m というふうにしております。
0:12:01	15 ページ。
0:12:03	がですね、地震は干渉法による地盤減衰の推定結果を示しております。この図を見ますとQ値は 806 て、
0:12:13	いうふうになっております。
0:12:16	で、16 ページに、これまでの検討結果を下のほうに再掲しております。これを見ますと、二つの手法で得られました地盤減衰の下限というのは、806 程度映画っております。
0:12:32	これを踏まえまして、地盤減衰の不確かさを考慮しまして、周波数によらず、旧値を 12.5 と設定しております。
0:12:45	続いて、17 ページからになりますけども、こちら先ほど設定しましたQ値 12.5 の妥当性検証のため、
0:12:56	無期限延長を示しているところでございます。17 ページにつきましては、観測伝達関数との比較を実施しております。
0:13:06	右の図では 92.5 それと、旧値を今回の同定結果としたものの理論伝達関数と観測記録の伝達関数を比較しております。
0:13:20	こちらを見ますと、今回設定した 12.5 の理論伝達関数のほうが同定結果をそのまま用いた場合よりも、
0:13:30	オオムラ大きい傾向で概ね大きいことを確認しております。
0:13:36	続きまして、18 ページにつきましては、こちら応答スペクトルによる検証を実施しております。
0:13:44	Tn-90 メーターの最深部の地震計の観測記録A+Fを入力としまして、92.5 を設定したつか構造モデルを用いまして、一次元波動論に基づいて推定した。
0:14:01	解放基盤表面の応答は+Fの応答スペクトルと同位置の地震計におきます。観測記録の応答スペクトルとの比較を実施しております。
0:14:16	18 ページの下の図からですね、29 ページまで、先ほど検討対象とした 19 地震の観測記録の応答スペクトルを用いた検証結果を示しております。
0:14:29	その際ですね、この済みは、参考として既許可のQ値 100 の結果も示しております。
0:14:37	こちら見ていただきますと青線の既許可の旧値 100 の
0:14:43	結果よりですね、赤線の 92.5 のほうが路線の観測記録近づきまして、また全体としては、赤線のQ値 12.5 のほうが路線の観測記録の応答スペクトル及び概ね大きいことを確認しております。
0:15:01	これによって設定した 92.5 の妥当性を関係確認しているところでございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:11	続きますでちょっと飛びますけども、
0:15:15	28 ページ以降はですね、前のページまでで設定しました。旧値の設定範囲健康についての御説明です。
0:15:24	前のページまでの検討検証によりましていえる 11 メーターからマイナス 90 メーターまでの班員を 92.5° として設定しておりますが、この設定範囲につきまして、EL マイナス 200 メーター程度までの
0:15:42	PS 検層結果を踏まえた速度層断面ごとにですね、検討を実施しております。
0:15:49	29 ページから 31 ページまでに原子炉設置位置付近の速度層断面を示しております。
0:15:57	こちらを見ていただきますと、鉛直あれば、
0:16:00	次、鉛直アレイ地震計が設置されているいえるマイナス 90 メーターも浅い部分につきましては、②③速度層
0:16:10	いえるマイナス 90 メーターからいえるマイナス 200 メーターまでの
0:16:16	ところにつきましては③速度層に分類されておまして、
0:16:21	両者は同等の速度構造であることを確認できます。
0:16:25	これを踏まえまして、鉛直地震観測鉛直アレイ地震観測記録に基づき設定した一番減衰 Q 値 12.5 EL マイナス 200 メーターまで設定してございます。
0:16:40	続いて 32 ページ以降につきましてはいえるマイナス 200 メーターまで設定した地盤減衰吸気の
0:16:48	92.5 の妥当性について、地震観測記録に基づく地盤増幅率による検証を実施しております。
0:16:56	友沢ほか 2019 年につきましては、右下の図の通り、九州地域で発生した地震における K ネット KiK-net 先代原子力発電所、それと、玄海原子力発電所で得られました観測記録を用いて、
0:17:13	九州地域の震源特性伝播経路特性、サイト増幅特性についてブロックインバージョン解析により、
0:17:22	続いていかなされております。この A ブロックインバージョンにつきましては、
0:17:28	左下のほうに書いてますけども、それについては 2008 年岩手三内陸地震の震源域に、
0:17:35	でありましたり、世の中周辺の事業対象にしたいずれも査読論文である影響研究がございまして、この手法を用いまして伝播経路の不均質性を考慮してございます。
0:17:49	検討用いた観測記録につきましては、三つ目の丸に示しておりますけども、この方針で選定しております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:58	検討に用いた地震につきましては、その地震所見について、33 ページのところにお示しております。
0:18:09	34 ページに踏査を 2019 円に基づく検層結果を示しております。
0:18:17	友沢ほか 2010kAでは玄海のサイト増幅特性後設定されてまして、これを用いて検証を実施しております。
0:18:26	友沢ほか 2019Aの地盤増幅率は上 3000
0:18:31	/sからも地盤増幅率でありますので、左下の表に示しております。今回の標準応答スペクトルの評価に用いる地下構造モデルのVs3000 相当の層状面から地方までの増幅率を算出しまして、
0:18:48	友沢ほか 2019Aの地盤増幅率と比較をしております。その結果ですね、踏査を地盤増幅率よりですね、大きいことが確認されまして、いえるマイナス 200 メーターまで設定した。
0:19:04	一番減衰Q値 12.5 の妥当性が確認されます。
0:19:09	ね。以上踏まえまして、36 ページに
0:19:14	あ、すみません、35 ページに今回の標準応答スペクトル評価に用いる地下構造モデルのまとめを示しております。
0:19:25	続きまして、36 ページ以降は地下構造モデルの地盤減衰を精緻化したことによる特定指定の影響についての御説明です。
0:19:37	現行のですね、基準地震動SsのみをSs-3につきましては、断層モデルを用いた手法で経験的グリーン関数法により、策定しております、地下構造モデルは、用いておりますが、
0:19:51	来許可におきましては、地下構造モデルを用いた理論的方法による影響評価や、統計的グリーン関数法による妥当性確認を
0:20:01	実施しております。
0:20:03	そこで今回精緻化した地下構造モデルを用いまして、最後ですけども、37 ページ 38 ページで理論的方法による地下地震動評価を実施しております。
0:20:15	また今回の地下構造モデルを用いて再度 41 ページと 42 ページで統計的グリーン関数法による地震動評価を実施しております。
0:20:27	その結果、特定指定の影響がないことを確認しております。
0:20:31	37 ページ、38 ページにありますけども、今回の地下構造モデルを用いて理論的方法による地震動評価を実施しまして、許可の理論的方法による地震動評価結果と同等であることを
0:20:48	この 37 ページ 38 ページで確認しております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:55	続いて、すいません。41 ページと 42 ページになりますが、今回の地下構造モデルを用いまして、統計的グリーン関数法の地震動評価を実施しまして、教科の統計的グリーン関数法と増嵩
0:21:12	あることを確認しております。
0:21:15	すなわち大きく許可の経験的グリーン関数法の妥当性が確認できています。
0:21:21	またあわせてですね、統計的グリーン関数法の再評価結果につきましては、基準地震動 S_s-1 に包絡されることを確認してございます。
0:21:34	続きまして、43 ページ目からは先ほどご説明しました予算ぱ 2019 円の概要について簡単にまとめております。
0:21:45	友沢ほか 2019 年の先行研究としましては、友沢ほか 2019P というものがございまして、この論文で観測記録を震源伝播経路サイト特性にごみする際には伝播経路の不均質性を考慮することの
0:22:01	重要性が指摘されてまして、この手法をもとに供さ、2019A では 9 周知をの九州地方を対象にですね、ブロックインバージョン解析を実施しております。
0:22:17	このブロックインバージョン解析により伝播経路特性の最適な療育分割でありましたり、不均質構造というの推定しております。
0:22:27	均質な元帥構造を仮定した進行いわゆる一般的なスペクトルインバージョン陪席試行と、今回の本手法の廃棄残差の分析もしております、本施行の方が残差が小さくなるというような
0:22:44	ことも確認をしております。
0:22:48	44 ページにつきましては、既存観測地点の概要、それと 45 ページ目はブロックインバージョン解析手法の会議をそれと 46 ページは先ほど
0:23:00	御説明しました。均質交付、今回の不均質構造による海域残差の比較を示しております。
0:23:07	玄海の地下構造モデルに関する御説明は以上でございます。
0:23:15	規制庁クマガエです。ご説明ありがとうございました。
0:23:19	ちょっと資料に戻っちゃうんですけども。
0:23:23	最初に御説明いただいたその
0:23:25	評価の概要についての TT001 階のところの
0:23:32	8 ページのところなんですけども。
0:23:36	ここで結局
0:23:39	この S6 については、
0:23:41	埋設後の応答スペクトルに

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:44	包絡されてないということで周期 0.03 秒付近から 0.07 秒付近ではあったという一部周期体において包絡されてないということなんですけど、これ、すべてもう一度区分すると、例えば、
0:23:57	NS方向とかだと。
0:24:03	ですから、まず 0.03 秒の
0:24:06	ちょっと上のところですか、
0:24:09	0 点です。間のところですか、あとはさらに 0.07 秒のちょっと手前のところでは、
0:24:17	Ssの分が、
0:24:22	紫に接合とかには包絡されていないと。
0:24:26	というのが示されていて、
0:24:28	EW方向については、これは、
0:24:32	0.03 秒のまさにそのところとか、
0:24:35	0.07 秒まさにそこら辺については、
0:24:39	ほらされてない。
0:24:41	ていうことなんでしたっけ。
0:24:44	すみませんもう一度御説明をお願いできますか。
0:24:48	はい。起電力のモトムラでございます。まずNS方向につきましては、先ほどおっしゃられた通り全件 03 病院ちょっと先のところ、それとあと、0.06 秒。
0:25:02	付近ですね、こちらについては水色のSs-6 名の方が紫のSs-5 より大きい傾向にございます。
0:25:12	GBq方向につきましては、まさにその 0.03 秒付近でありましたり、0.07 秒付近につきましては、やはり水色の線が紫の線より大きい傾向にあります、この範囲については、
0:25:29	0.03 秒付近から 0.07 で付近
0:25:32	この間については紫の線が紫の線のSs-5 が勝ってるというような状況でございます、先ほどおっしゃられた通りの認識でよろしいと考えております。
0:25:47	はい。
0:25:48	規制庁クマガエです。
0:25:50	ちょっとその、今、
0:25:52	三つ目のポツのところに書いてある文章だけです。ちょっとわかりづらいかないというふうに
0:25:58	考えてまして、ちょっとそこら辺のご説明あったような内容です。もうちょっとわかりやすくですね。
0:26:04	示していただければなと思っております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:09	あとと言う
0:26:10	上下方向は大丈夫なんですけど。
0:26:18	九州電力のモトムラでございます。上下方向につきましては、
0:26:24	0.03 秒付近から 0.07 秒付近につきましては、完全にですね紫の線が水色のS s-6 より大きいということは、
0:26:35	確認できております。
0:26:39	はい規制庁クマガエですありがとうございます。
0:26:42	それと、あと水。
0:26:43	0.03 秒とか 0.07 秒付近のところについての記載はあるんですが、これ。
0:26:50	0.02 秒とかそこら辺の
0:26:52	評価はどうされてるんです。
0:27:05	九州電力のモトムラでございます。0.02 秒のところについては 0.0 です。二つ 目のポチで、ちょっとご説明しているところでございます。
0:27:16	ちょっと先ほど説明のときにはですね、NS方向、EW方向については、
0:27:24	Ss-4 に
0:27:26	S水色のSs-6 は包絡されてるんだけど、上下方向を見ますと、
0:27:32	水色のS-6 は紫色もSS-5 に包絡されると。
0:27:37	ということで、同一の基準地震動に包絡されている関係にはなってないと。
0:27:43	というようなことをちょっとすいません、二つ目のポツでは言いたかったところで ございます。
0:27:49	規制庁クマガエですすいませんはい、承知いたしました。
0:27:52	御説明ありがとうございます。
0:28:12	規制庁クマガエです。すいません。それでは
0:28:15	地下構造モデルの設定についての
0:28:18	ところについてもちょっと確認させてください。
0:28:24	こちらについては、
0:28:26	新たに
0:28:27	地震観測記録をもとにですね新たにいろいろ
0:28:31	策定されて確認する。アルゼンチン記録をとられて、それに基づいて、
0:28:37	確認等されてるといことになるんですけども。
0:28:41	これ自身から一番最初に地震観測記録がちょっと
0:28:45	数が
0:28:46	155 から 150 億円増えましたとあったんですが、これは特にその観測する。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:52	評価範囲が変わったとかっていうのはそれは関係なくないんですが、それはもう持ってるあかん変わってないということでもよろしいんですけど、前提条件として、
0:29:01	九州電力のモトムラでございます。地震観測記録を再整理するところで、一つ増えたわけですけども、この資料ですわね、19。
0:29:12	C
0:29:14	ピックアップして 19 地震というのをピックアップしているわけですけどもそれが増えたとか、そういう話ではございませんで、今までの御説明した
0:29:25	検討結果から変わるものではございません。
0:29:32	規制庁クマガエです。
0:29:33	検討結果には変わらなくてさらにその母集団としての
0:29:38	評価範囲としても特には変わってないということでもよろしい
0:29:44	その通りでございます。
0:29:50	規制庁クマガエです。
0:29:54	それで、
0:29:55	今回、
0:29:57	その 19 地震についての解析雨量とされていると。
0:30:02	ということなんですけれども、
0:30:05	海 11 ページのところで、
0:30:09	実際
0:30:13	実際に地震観測記録として 19 地震観測されたもの。
0:30:17	平均伝達関数と
0:30:20	まさにその今度
0:30:21	今回の同定結果に基づく理論伝達関数、
0:30:26	これらについて比較をされているところなんですけども。
0:30:31	この比較した。
0:30:33	結果としてはですわこれは、
0:30:38	評価としては、
0:30:40	これ歩なんですか。それぞれの
0:30:44	実際の地震観測記録について、
0:30:47	いろんな伝達関数が、
0:30:49	それなりに反映できている。
0:30:51	できてないできてるというような御評価なんですけど、そこら辺はどのように考えてらっしゃるんです。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:59	九州電力のモトムラでございます。こちらの伝達関数による検討につきましては、19 地震でありました観測記録の
0:31:11	初期条件について 14 ページ示された重要じゃないすみません、10 ページに示させていただいておりますけども、19 地震の観測記録の平均伝達関数というものを
0:31:23	もとにですね、地盤減衰の同定というものをしております。
0:31:29	平均伝達関数ではございますけども、この後にちょっと応答スペクトルの検証みたいなものをさせていただいておりますけども、こちらについては、各地震ごとに似ておまして、それぞれの地震の特徴っていうものは、この平均伝達関数によって、
0:31:47	一番減衰の同定っていうところでも、
0:31:50	範囲で来てるのかなというふうに考えているところでございます。
0:31:58	成長クマガエです。
0:32:02	大体反映できてるんじゃないかということであるんですけども。
0:32:07	ちょっとぱっと 11 ページの左の増パツと見てみるとですね。
0:32:12	その間の
0:32:14	記憶の地下構造モデル。
0:32:16	全然地震数が違うので変わってるのかもしれないんですけど、今回のアウト黒いやつをですね。
0:32:23	見てみると、
0:32:26	NS方向なんかを見るとですね。
0:32:29	でも、
0:32:33	10Hzの手前が
0:32:36	5Hzから 10Hzに向かうまで型になってまた
0:32:40	89Hzぐらいのところで、また青いのが上がってきていてですね、下がってきていると。
0:32:45	米山が見えるんですけど。
0:32:48	施工の黒いや理論的な理論伝達関数だと山側ですね、10Hzのさらに
0:32:54	奥のほうの 11 と 12Hzぐらいのところに山がきているようにも、
0:32:58	見えていて、
0:33:00	ちょっと山谷の関係がですね。
0:33:03	そんなに
0:33:04	綺麗にはなっていないのかなっていうふうにも見えるんですけど。
0:33:09	これのもうちょっと
0:33:11	全体の開発の設定の仕方にもよるのかもしれないんですけど。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:17	こちら辺はどのようにお考えになってるのでしょうか。
0:33:20	九州電力のモトムラでございます。5隻のところ、5ヶ月時系列の管理の部分でありましたり、時府立15Hzの山のところ、確かにおっしゃる通りに綺麗にはですね、やっぱり合っていないところありまして、結構なかなか苦労してるところでございます。
0:33:37	ただこの手の伝達関数による検討につきましては、左のほうのですね、多分、ネस्पをEW方向につきましては、山が大きな山があると思いますけど、こちらの方が大体1次卓越周期
0:33:53	ほか周波数とかに該当しまして、こちら辺、は非常に合ってるかなというふうに思っておりまして、確かにおっしゃられて合っていないようなところも多少ございますが、この伝達関数による検討だけじゃなくてですね。
0:34:09	次に示してございます。地震はカワチ手法による検討とかですね、時地下構造モデルによらないような直接解析するようなやり方で一つの手法によらずにですね、複数の方法で、
0:34:25	一番減衰というものを推定してございまして、確かにおっしゃる通り、ATENAいとは多少あるかもしれませんが、地盤減衰の設定にあたっては妥当かなというふうに我々としては思っているところでございます。
0:34:42	規制庁クマガエです。
0:34:44	ちょっともう1点だけ確認ですけども、
0:34:48	そんな今回
0:34:53	いろんなところでは確認されてるということなんですけども、この
0:34:58	新観測記録と理論伝達関数のこの
0:35:01	より合わせるためにですね。
0:35:04	例えばスムージングのほうをなどは、もうちょっと
0:35:09	整理をしてですね、実施するということもあるんじゃないかなと思うんですが、これはそのままそれだけはそれなりにできるだけ頑張ったということで評価されたということで、
0:35:19	すねそこら辺については、
0:35:21	そういう御説明だったということで理解しました。
0:35:27	規制庁ナイトウですけども、ちょっと細かい話に先に入り過ぎているので、
0:35:33	ちょっと皆さんの論理構成をもう一度確認したいんですけど。
0:35:37	この概要についてね。
0:35:40	目次でOWTF地震動についてつうことで、
0:35:46	基準地震動の策定まで行っちゃっているんですけども、
0:35:52	皆さんの論理構成があんまりこの資料見てもよくわかんなくて、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:35:58	設置許可の添付。
0:36:01	僕かの地震のところって、
0:36:04	特定をしての地震動はこういう形でそれぞれの地震と異なりますってなっていて、特定せずとしては特定せずとしてこういった形でこういうものを定めますその上で特定して特定施設を全体を見た上で基準地震動を、
0:36:21	としてこれを選定しますっていう流れになってるんだけど。
0:36:26	今回の
0:36:28	申請はそうなるんですか、どういう構成になってるんですか。
0:36:55	基準電力のモトムラでございます。後ご質問をいたしましてはこの7ページのところ、
0:37:03	特定して、
0:37:06	特定施設があるわけですけども。
0:37:09	その考え方っていうことですけど、ちょっとすみません、
0:37:16	規制庁端的に言うと特定してとしての地震動って何を定めてます。
0:37:21	特定施設か。
0:37:24	それがよくわかんないんですよと、今回の申請で特定せず、
0:37:29	としての地震動として何を定めたんですか。
0:37:37	九州電力のモトムラでございます。今回の申請におきましては、特定せずについて表情応答スペクトルに基づく地震動としてS _s -6を追加したものでございます。
0:37:50	すいません説明するS _s ということに
0:37:54	ていう言ってるってことは、
0:37:56	特定せずとして定め目ってるの定めてない。
0:38:02	通常の申請の申請書の記載としては特定せずとして地震と定めて、その中でいろいろ考慮した上で、
0:38:14	基準地震動として定めるときにS _s ナンバーがつくんだけど。
0:38:31	九州電力の赤司でございますすいませんちょっとご質問が必ずしもこちらピンときてなくて申し訳ございません。今回の申請の中では、施設の中で最もと特定せずとしては、結果的にS _s -4となりました。
0:38:47	部門の地震、それからウェイ結果的にS _s -異なっております。鳥取県施策実施これを特定施設の中で、まず地震動の評価をしておりますしてさらに今回、
0:39:02	特定施設の中で標準応答スペクトルに基づく地震動を評価したというものでございます。それをS _s にするかとかというところで、ベースでいきますと、後ろの
0:39:17	例えば7ページに書いておりますような

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:39:22	会長のSsとの比較により、いずれも3方向行っちゃっているものはないという判断で今回評価した長治元スペクトルの評価結果、これはSsとしますと、いうふうに判断をしてというものでございます。
0:39:38	ちょっと御質問のイトウになっておりますでしょうか。
0:39:41	規制庁のですが起こりますということに
0:39:44	いや、だからそのね、どういう段階踏んで
0:39:47	Ssを一般ふやしたのかってのがあんまりはっきりしなかったのを確認したんですけれども、まずは
0:39:57	特定しては変更がないですということなのね。そのうえで特定せずとして今作ったに観測記録に基づく
0:40:09	にプラスして標準応答スペクトルを考慮した特定せずを作りました。
0:40:19	RI特定してと特定せずを比較をして包絡関係を考慮した結果として、
0:40:26	結果として表示応答スペクトルの
0:40:32	が溢水する6として選ばれましたってそういう流れということよろしいですか。
0:40:42	九州電力なんかしてございますんであれば教えてその通りでございます。
0:40:47	これを超えますと、流入もう一つ確認したいのは4ページのところで、既許可で設定した地下構造モデルを精緻化するとしてるんですけれども、これは精緻化なんですか変更、
0:41:02	するんですか。
0:41:04	そういうともう標準応答スペクトルを考慮する際の地下構造モデルを
0:41:12	宮中数値化した上で、新たに設定したんです。
0:41:17	九州電力としての
0:41:19	この地下構造モデルっていうのはどういう位置付けなんです。
0:41:24	既許可で使ったものとの関係、
0:41:39	九州電力のモトムラでございます。我々のスタンスとしましては、今回標準応答スペクトルを用いた地震度評価にあたって、来許可以降ですなされた知見等を踏まえまして、地下構造モデルの地盤減衰を
0:41:56	標準応答スペクトルに基づく手法につきましては精緻化したと。
0:42:02	というようなスタンスでございます。
0:42:05	。
0:42:06	規制庁内で言うとSC地下下の意味がよくわからん。
0:42:13	構造地下構造モデルを
0:42:18	書いたんじゃないんです。
0:42:23	数値化すると。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:25	いうことは記憶で設定したやつを変えますということなんだけど、どっちですか。
0:42:42	九州電力のモトムラでございます。地盤地下構造モデルの地盤減衰については、標準応答スペクトルを考慮する際に、精緻化といいますか変えたということでございます、既許可に対する
0:42:57	ものにつきましては、先ほどご説明しました通り、影響評価ということで、影響がないことを確認したことを御説明させていただきたいというふうに考えてございます。
0:43:11	規制庁ナイトウですけども、いや、だから、だから、
0:43:15	数値かなんですか。
0:43:17	表 10 号棟スペクトルをに使う新たな地下構造モデルを作ったのですかどっちですか聞いてるんで、
0:43:28	九州で求められてございます。今回新たにですね、地下構造モデルを設定したということで、
0:43:37	時精緻化したというわけではなくて変えたというようなことでございます。
0:43:47	所イトウ確認だけであれば聞かせて指摘子供で精緻化するって書いてあるんだけど、これは既許可で設定した地下構造モデルに加えて、地下に標準応答スペクトルを考慮する地震動に用いる。
0:44:03	地下構造モデルを新たに設定したっていいことですね。
0:44:11	九州電力の目標でございます。その通りでございます。
0:44:29	えっとね。いやそうするとねちょっと事実確認としてなんだけど、地下構造モデルとしては、玄海の場合は、EGF使っていて、EGF等、
0:44:40	当町周期側が理論でハイブリットしてるんだけど、EGFの妥当性を確認するために設定した特定しての
0:44:56	SGF用の地下構造モデルと
0:45:00	特定せずを、
0:45:04	評価するように、
0:45:06	策定した地下構造モデルと二つの地下構造モデルがある。
0:45:13	ということでよろしい。
0:45:16	ですか。
0:45:18	九州電力のモトムラでございます。二つの地下構造モデルでございます。
0:45:26	二つとも生きてるってこと。
0:45:28	ですね。
0:45:29	0 ここのところで影響がないということをいろいろ説明しているというところは、
0:45:36	これは何を説明したいのかがはっきりしないんだけど、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:45:45	EGFの妥当性を考慮した数字、
0:45:51	F用の地下構造モデルを
0:45:56	今回新たに策定するものに変える必要はないと言いたいことが、
0:46:11	九州電力のモトムラでございます。今回の地下構造モデルを用いたとしても影響がないということを確認してますので、変えるし新たに前SGFをに地下構造モデルっていうことを排風必要はないというふうに考えているところでございます。
0:46:31	規制庁の貯槽へ影響がないっていうのは何を持っていないかとしてののがはつきりしないので、
0:46:37	よくわからないのもあるんですけど、何をもって影響がないとしてるんですか。
0:46:54	九州電力のモトムラでございます。例えば 41 ページに
0:47:00	数字の
0:47:02	既許可のときの数字Fのもの、それと、今回新たに設定した地下構造モデルを用いたSGFの結果というものを示してございます。で、それぞれですね、緑線、青線で書かせていただいておりますけども、
0:47:18	こちらについて、あまり差異がないと。
0:47:21	いうふうに思ってますし、結果的にですね、二つ目の丸に書いてますけども、基準地震動 S_s-1 に包絡されていることを確認してございますので、これらを踏まえて、地下構造モデルを変えたとしても影響はないと。
0:47:37	というようなことを示させていただいているもので、
0:47:44	規制庁ナイトウですけれども、ちょっと確認なんだけども、地下構造モデルを変えたことによって、新たに作ったやつを使うと。
0:47:56	SGFの結果は変わるということで、影響あるということでまずいんですよね。
0:48:06	九州電力のモトムラです。結果自体はあるものになってます。はい、変わります。
0:48:13	DSGFを使った系統EGFの検証用のSGFの地震動としては変わるんだけど、
0:48:27	何を持って、
0:48:29	新たに作った。
0:48:34	地下構造モデルを採用する必要はないと判断されてるんですか。
0:49:14	九州電力を求められてございます。今回の評価結果というのが青線になりますけども、既許可のときな緑線になりまして、特に短周期側ですけども、緑色の線が青線より大きい傾向にありまして、
0:49:30	そういう保守性をですね、許可のときは持ってたと。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:36	今回見直しましたけども、使う構造モデルのほうから新たに設定したのを使うと、多少
0:49:44	ちっちゃくはなります。
0:49:46	それに加えて、基準地震動 S_s-1 とどうかということも踏まえまして、今回見直して評価しましても、静水のうちに包絡されることは、確認できるということをご説明したかったんですけども。
0:50:03	ご説明したかったんですけども。
0:50:10	規制庁ナイトウです。所皆今聞いた範囲で私の理解で言うと、
0:50:19	閉と地下構造モデルを変えることによって、短周期の部分は、結局かですったSGFも小さくなる。
0:50:34	もうね、短周期だっけ。
0:50:38	なのってということと、当結果として、の部分で新たな地下構造モデル。
0:50:50	を使ったものを
0:50:53	は、
0:50:54	S_s
0:50:57	12
0:50:58	全周期崩落される。
0:51:01	ので。
0:51:09	レベル感として考えたときに、
0:51:11	S_s に影響を与えるものではないと判断をしたっていう、そういうことですか。
0:51:21	九州でモトムラです。その通りでございます。
0:52:01	概ね 41 ページのところ、これ 0.2 秒くらいのところって、
0:52:06	b. 2。
0:52:09	25 くらいのところ、
0:52:12	これって言い等。結局あの時のものと今回の
0:52:19	統計的でどっちが上になってるんですか。
0:52:22	。
0:52:29	図面上で見ると、 S_s1 、
0:52:34	これ、
0:52:35	認めのお話なのかもしれないけど、
0:52:37	こう言っているのか、ほぼ一致してるのかっていうそういうレベル感で書いてあるような気がするんだけど、これは青線緑線どっちですか。
0:52:55	NS方向、
0:52:59	九州電力のモトムラです。緑線になります。
0:53:03	統計的なほうね。
0:53:06	そうでございます機器計器許可のほうのやつね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:53:11	そうです。はい。
0:53:26	えっとねそうすると厳しゅう電力の判断としては、
0:53:34	これね統計的EGFふうのレベルかを確認するためにSGFでやってるんだけど、
0:53:43	いやあ地下構造モデルを変えたことによってEGFとSGFの関係ってどう評価してるんですか。
0:54:00	九州電力のモトムラです。許可のときの地下構造モデルと今回新たに設定した地下構造モデルで評価をしますとSGFの評価は多少、他出費が変わるところがございますけども、維持F-A地震動レベルの
0:54:17	妥当性確認については、変わるものではないかなというふうに考えているところでございます。
0:54:28	規制庁ナイトウですとね、Ss温をつくるときって、どういう考え方でSsは引っ張ったんでしたっけ。
0:54:37	応答スペクトルそのまま引っ張ってるんでした。
0:54:41	かさ上げしたとしても、
0:54:45	あ、すみません、九州電力のモトムラです。Ss-1の考え方としましては、検討用地震へ延びると竹木場断層等や南断層というものがございまして、その応答スペクトルに基づく手法を包絡すると。
0:55:01	いう形で基準地震動Ss-1というものを設定してございます。
0:55:17	規制庁ナイトウですけど、包絡stage内からSs3とか、
0:55:23	Ss2が出てるんだよね。
0:55:32	九州電力のモトムラでございます。Ss-2と3につきましては、断層モデルの結果を採用してございますけども、Ss-1との包絡関係を見まして、断層モデルのほうが超えている新北につきましては、
0:55:48	いろいろと断層モデルの結果がありますけども、その周期体でチャンピオンになるもの、Ss-2と静水-3として、策定してございます。
0:56:07	ごめんね。規制庁の努力でとか、Ssをつくるときに、は竹木場とか城山南の応答スペクトル法に基づく
0:56:23	1000を考慮してそれを包絡するような形で作った。
0:56:27	ということ。
0:56:28	ですかね。
0:56:31	九州電力のモトムラでございます。おっしゃる通りSS-1については、構造山の応答スペクトル法に基づく結果を包絡してSS-1を策定してございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:56:48	なので九州電力さんの今の論理構成でいくと、S _s 湾と、結局はもうそうだし、今回のやつもの地下構造モデルを使ったやつについても直接比較をしているわけではなく、
0:57:06	っていうEGFとの比較をやっているという形の中なので、閉なんだけれども、念のためS _s 維持いい等、
0:57:24	S _s 一応こう言っているかどうかを
0:57:29	確認しているという位置付けなんですけど、これ既許可のやつを買っ超えているということを確認しているっていう位置付けなんですか。
0:57:36	そんなことなく、機構でやった。
0:57:38	記憶はないんだけど。
0:57:42	どういう論理構成でここのSGFの位置付けしてしてるんですか。
0:58:04	九州電力の赤司でございます。ちょっと綺麗に先陣をつけて御説明できてなくて申し訳ございません。許可のときも、今回の事象なんですけれども、あくまでSGFをやってるのは、ある本ちゃんとして用いてるEGF、
0:58:20	これがこれと比較しているのはEGFとSGFが外れしているとどっちがどっちという話になるのではEGFがおかしくないところの評価ができてるかという確認として、SGFと対比をしていると。
0:58:36	目的は、そのEGFの妥当性船舶にするための評価でございます。これただき許可のときにも
0:58:45	例えば、40ページの資料に書いてありますけど、なおで書いておりますけどもこれ切断に包絡されるかされない場合、これをSGFの評価結果がどうのこうのと言いたくってつけてるわけではないんですけども、
0:59:01	ちなみに、参考2ぐらいのつもりで埋設盤との関係も行ってます。
0:59:07	ということをお示していくかというものでございます。今回についても同じように、財政その他の関係でどうなのっての参考までに見てみると、こんな関係でしたというのをつけているというものでございまして、
0:59:21	ばロジック論理構成をロジック上九重山との関係学の一つの評価において、何か問題になってきているというものではないというものでございます。
0:59:34	以上でございます。
1:01:08	規制庁の内藤ですけども1とね。今岡さんの話を聞いてわかったんだけど、熱気許可のときに、
1:01:16	まずはEGFがこれ加速。
1:01:23	されているデータだから、その地域の増幅特性の1周期特性をきちんと反映させ、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:01:32	できているものとしてまずは使っていいのかなのかってということを見るためにSGFを使ってアジアもで作って筋EGFを使ってレベル感として変なものになってないし、
1:01:47	仕上がりの波の方としても変なものになっていないからいいんですっていうのはまずやった上で、
1:01:54	とは言いつつもSGFのほうがでっかくなるところがあるから、ほかの手法である音スペクトル法との比較を見たときの応答スペクトルでがきちんと上回っているので問題がないんですっていう二段構えのことをやっていたんだけど。
1:02:09	今回も同じように二段構えをやりましてってそういう
1:02:13	理解ですか。
1:02:17	九州電力の赤司でございます。今のナイトウさんに御理解いただいた通りでございますわ。オートスペクトルによる値を超えているか超えて何かすいません私もこの場でぱっと局が四つありませんけれども、県を来許可の審査のときにどれぐらい議論いただいたかっていうところが、
1:02:34	ちょっと記憶アパート読みかえます予備が要りませんけれども、そのような組み立てで御説明させていただいた整備をしたというものでございます。
1:03:03	適切なのですけれども、いや、そう。そう。そうであればそうしっかり書いて欲しいんですけれども、
1:03:13	今回の資料もね。
1:03:17	そういう論理構成でやってますんだからいいとスワンとの比較もやってるんですっていうのであれば、
1:03:25	総会
1:03:26	そういう論理構成であるんだろうとそう書いて欲しいんですけれども、今の書き方見ると、
1:03:33	Ss-1を超えてないからいいんです。
1:03:38	ということを
1:03:39	評価したので、これがダイレクトに使ってますっていうふうにも見えちゃうんですけれども、そういうのに構成ではないってことですよね。
1:03:50	地すべりブロックのアカシでございます。今ご指摘いただいた通りでございます、今その中からお恥ずかしいところありますけれども、ここも結果だけを落とすと書いておりますので、どんなふうの中で何のためにこういうことを書いてあるのかというちょっとしっかりわかるように、
1:04:06	やっぱりちょっとここは記載したいと思います。
1:04:08	以上でございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:04:12	規制庁の伊藤です。考え方はそういうことだというのはわかったのでそれわかるようにしっかり
1:04:19	まずは、
1:04:20	九州電力の考えとしてわかるように書いてもらえればと。
1:04:24	もう今、
1:04:26	うん。
1:04:28	これさっきのあれね。
1:04:33	何ページと、
1:04:40	全体のところでもってくる地下構造モデルを変えているということであればちゃんと書いてるって入ってもらう。
1:04:47	今日もあるし、そこはちょっとよく整理をして記載は、
1:04:52	御社が考えてることがわかるように書いてもらえますか。
1:05:01	九州電力のモトムラです。承知いたしました。ちゃんと記載させていただきます。
1:06:05	規制庁タニですけど。
1:06:08	ちょっと私の方なの。
1:06:10	資料見てて、ちょっと気が付いた点なんですけど。
1:06:14	TPC001 階のほうの資料の
1:06:18	7 ページ。
1:06:24	先ほど議論があるDTS003 の 41 ページで、
1:06:44	ちょっとタニです勘違いしてました。
1:06:47	すみません。いいです私の方の質問。
1:07:19	逆の立場からすみません
1:07:23	規制庁ので早速、4 先ほどの
1:07:27	そごう規格とモデル設定については 41 ページのほうも 1 回確認させていただきたいと思いますが、
1:07:34	このⅡ私客の立場逆の視点から見ると、結局持てるんが、
1:07:44	統計と経験が半地下は水平動のぴったり合ってますと、
1:07:50	すごいなと思うだそうすると逆に今回の方は小さくなるでも逆流の立場から見ると、
1:07:56	こういう説明性がどういう形が昔のほうが、
1:08:01	非常に綺麗になってますね。今回のほうが小さくなってますと、
1:08:06	この要素地震のほうが今回の 16 地震復旧基準中リストが入ってますか。
1:08:24	九州電力のモトムラでございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:08:27	許可のときの経験的グリーン関数法の要素地震というのが牽制放棄地震の余震を使ってるんですけども、例えば、例えばで言いますか、9 ページに 19 地震のリストを記載させていただいてますけども、
1:08:43	こちらのですね、⑥九州北西起きて書いてますけど、2005 年 3 月 22 日の地震の記録を使って
1:08:54	1Fで評価してございます。
1:09:24	九州結局アカシでございませぬ。今補佐から御質問いただいたところすみませんちょっと今の御回答を聞かれた趣旨と違うことを回答してしまってるかもしれません。
1:09:36	ちょっと私、アカシが受け取りましたのは、この 41 ページを見ると、00
1:09:44	まさに今百均から見るとおっしゃってましたけども、例えばNS方向とEW方向を見ると、
1:09:53	既許可のときは、EGFが赤と統計的な緑が非常によく合っている。これが今回見直したことによって青線、むしろEGFとSGFの合いが悪くなった。
1:10:09	昔のほうが、以前の方がよかったんじゃないかという見方もできるけども、そこをどう考えたらいいかという。
1:10:17	御指摘だったんじゃないかというふうに私理解しておりますので、回答になってるかどうかわかりますけど、今回の切替っていうか前回と今回当部EGFとSGFの関係がそういうふうな関係になったっていうのは、
1:10:34	そのご理解いただいでる通りでございますが、これ実はAh許可のときに須磨最確の審査の時ですけども、いろいろ御説明させて頂いて御議論させていただいたのが特にこの 41 ページですと、一番右の上下方向、
1:10:52	を見ますと、
1:10:54	いや、これかなり経験的グリーン関数法EGFの結果が大きくなっておりまして、それよりもSGFの結果、これ前回も今回ですけども、かなり小さめの評価になっておりますんで、このときにEGFとSGFどっちがどっちかという話をすると、
1:11:12	SE方向についてはどっちもどっちなんだけども、鉛直方向についてはこれ以上の方が非常に大きめの結果を与えるとしたらここ 2 秒からコマ 5 秒の間ぐらいでは、
1:11:27	説話も非常に大きく上回るような結果を 1F値ということで、鋭意自負に対して技師SGF
1:11:36	が、その委嘱日クラックに関する結果を与えるものではないですということなのでかなり上下方向にちょっと着目をして議論をしたというところもございました。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:11:48	ですので前売買として先ほどウーさんから御指摘いただいた通りかなと思いますけども、最終的ないずれ俯瞰鋭意SGFかどっちがどっちという判断にはまぜにおいても今回においても、拠点はその判断が変わるものではないと。
1:12:05	いうふうには考えております。
1:12:08	ちょっとお答えになってるかどうかではありますけれども、御回答以上でございます。
1:12:35	すいません、回答お願いをしてます新しい確かに40名だけだったらそんなに何か印象を受けてますが、本当がこの地震だけではなくて多分42ページ中間ほかの人口の雨でも、
1:12:50	必ず何か言っても大きくなるのではないか。このようなか夏でも今回の地震の今回の口頭でいつも小さくのではないような
1:13:02	研修なんかの結果を申す少し丁寧に説明したらいいかなとのコメントをですね打ち合わせ41ページだけ見ると、
1:13:11	こんなイメージになってません42名とかね時間のみを総合的に判断すると、今回のモデルはそうなん。
1:13:17	そこそこある国内ではないかそのような説明というような
1:13:22	ではないかと感じてます。以上です。
1:13:27	九州電力なっております。さらに込めたありがとうございました。おそらく通りちょっと41ページと42ページ、総合的に見てどうなのかという、
1:13:40	整備とか説明は当然必要だと思いますのでそこはちょっと絵でちゃんとまとめた上で記述したいと思います。ありがとうございました。
1:14:15	規制庁ナイトウですけど、いうところをね、
1:14:20	まず、
1:14:22	だからその地震みたときに乖離が少し出ますよねとかいう話について、全体としてどうですかって話なんだけど、
1:14:31	相当前に燃料これ砂丘地推定をするのにスムージングしているんですよ多分。
1:14:39	スムージングした上で休日推定しているんだけど。
1:14:44	伝達関数とか、これ自身は干渉法もやっているんだと思うんですけども、観測したやつ。
1:14:54	当理論のスムージングって、なぜ方法でやってます。
1:15:00	書いている。
1:15:01	書いてない。
1:15:05	はい、九州電力、すいません。
1:15:08	スムージングにつきましては観測記録にもつけてますし、理論計算理論。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:15:15	伝達関数にも、その事業同じようにかけてございます。
1:15:30	一方、どちらもスムージングしてるのかってんだけどスムージングを同じ形でかけてます。入ってないっていいことですか。スムージングの仕方を
1:15:46	九州電力モトムラです。同じような形でスムージングしてございます。
1:16:05	えっとねフィルターの書き方とかを変えると。
1:16:08	形変わるんだけど。
1:16:12	そこは同じ方って同じ
1:16:16	フィルターとかを使ってもフィルタどういったものを使っているとか、そういうところで差はないということですか。
1:16:42	九州電力のモトムラです。ウィンドウではなくてフィルターキットですか、あの議論についてはこちら 14 ページに、
1:16:50	15 ページの 1 ページに記載してます通りバンド幅 0.2Hzの
1:16:58	全員どう書けてるっていうのは、/s/にしても理論にしても、
1:17:02	同じものを使ってます。
1:18:55	規制庁ナイトウですけれども、2Q値推定をするにあたってスムージングが影響を与えているのかいないのかっていうところを明確にして欲しいんですけども、
1:19:09	例えば、当スムージングする前の形状は困難になってますとかっていうのを示した上で、
1:19:18	リース料どう処理してるからスムージングによってQ値に影響はないと。
1:19:25	ということ。
1:19:28	のはずんだけど九州電力どう
1:19:31	市長としてはそういうことになると思うんだけどその辺って何か説明
1:19:36	できませんか。
1:19:43	九州電力のモトムラでございます。すいません。先ほど指摘、御指摘ですけども、ちょっと今すぐちょっと答えられる材料がございませんので、ちょっと整理させていただきます。すみません、申し訳ありません。
1:20:16	はい、規制庁においてですけど後ねこれ。
1:20:19	実施の干渉法に遊休地の推定をしているんだけど、これ関連のよいものを抽出しているという。
1:20:28	形ですか。
1:20:31	これって、
1:20:33	Q値は、
1:20:35	救出した地震の平均
1:20:39	ですか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:20:40	平均であるのであればそのばらつきというぐらい。
1:20:44	ありますか。
1:20:57	九州電力のモトムラです。おっしゃる通り抽出した後に変形をとってますので、それがどのぐらいばらつくかについて、ちょっと整理させていただきたいと思います。
1:21:45	規制庁クマガエです。もう1点ちょっと
1:21:48	さっきの通り確認済み。
1:21:52	相関を
1:21:54	消火のいいもの出してるってということで今、
1:21:56	次が監視方法のところ、
1:21:58	されてるんですけど、これで案断層 2004 による非常に基づくもとにあるんですけど、ちょっとアンダーの 2004 の
1:22:05	資料としてどういったものを考えてですね今回
1:22:08	どれ等行ったものを
1:22:10	10 資生堂行ったものをリジェクトしてるのかっていうの。
1:22:14	ここら辺ってどういうふうに考え方されてるんでしたっけ。
1:22:17	そこら辺を御説明いただいてもいいですか。
1:22:25	九州電力のモトムラです。すいません資料上と仕込んでおりませんが、アンダーの 2004 というところで指標となる計算式が出されてまして、それに基づいて、我々のほうで
1:22:40	相関の 0.8 っていうのは、決めているところがございます。それに基づいて抽出をしてきたと。
1:22:48	ということですので、ちょっと四季がどういうものかっていうのはちょっと今回ちょっと示させていただいておりませんが、
1:22:57	ちょっと検討したいと思います。
1:24:30	規制庁のタジマですとですね当座他のブロックインバージョンに関してなんですけれども、補足というか参考-45 ページ。
1:24:41	ほかに 43 ページ以降に概要を書いていたんですけど、この友沢ほかのブロックインバージョン抵抗スペクトルインバージョンのさらに以降不均質な減衰構造考慮できるっていう少しこう、そういう
1:24:58	プラスの要素加えたもので、ただそもそもそのスペクトルインバージョンで例えば 45 ページの式からどういうふうに震源と伝播経路と地盤特性とかっていうのが、求まってそこから例えば、
1:25:15	そうですね、Q 値っていうのはどうやって求めるのかとか震源特性から、震源のさらに細かい特性とかっていうのを、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:25:25	どうやって評価してるするものなのかというのを私とか少しバックグラウンドとしてわかるんですけども、多分この資料だけですとそのそもそものそのスペクトルインバージョンですね、の話っていうのがちょっとこの 45 ページとかの式だけですと、
1:25:43	ちょっと伝わるわからないものも多いと思いますので、
1:25:49	もし今わかるようでしたら、例えば震源特性とか伝播経路とかっていうのをどうやって
1:25:59	スペクトルインバージョンブロックさらに減衰特性はブロックで分けられるようにやってるのかとかを今御説明できればしていただいたり、すぐ御説明できないようだったらちょっとそういうもとのちよっと原理のような
1:26:15	これも補足していただけたらと思うんですがいかがでしょうか。
1:26:23	九州電力のモトムラでございます。タジマさんおっしゃられた通り、一般的なスペクトルインバータ電波のQ値をですね、ブロックインバージョンという形で領域を決めながらですね。
1:26:38	しかも領域ごとにQ値を変えるというような今回
1:26:45	検討した内容としてはそういうことなんですけども、ちょっと確かに資料上論文からの引用だけで、ちょっとわかりにくいところがございましたので、ちょっと原理のところとかです。
1:26:57	ちょっと検討させていただきたいと思います。すいませんありがとうございます。
1:27:06	はい、ありがとうございます。お願いします。
1:27:09	規制庁の立場からもう 1 点、ちょっと 34 ページの
1:27:15	友田ほか 2019 の方法で確認しているところの一つ目の丸の基準点の数なんですかね条件について、可能であれば教えていただいて資料にもちょっと
1:27:31	もう少し説明を入れて欲しいんですが、この二つの
1:27:38	地点を基準点にしているということで、かつ推定された残サイト増幅特性はVs 3000m毎秒程度というふうにはぼやっと書かれてるんですけども、
1:27:51	それぞれの基準点のITAG09 とKJSH一、二のそれぞれの地中の観測点なのかなあを使っているのかなとは思いますが、それぞれのこの地震計の設置位置のそのVSですね、地震基盤とみなせるということなんです。
1:28:10	けど、条件と、あと確か自分の知識が間違っていなければ、この基準点と、基準にする層っていうのは別で設定ができて基準層っていうのは何か得られるはずなんです。
1:28:27	何でその辺の、それがさっきの 45 ページの式なんですけど、その辺の結局Vs理屈の層からの

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:28:35	増幅率を今見ているのというのがわかるような条件。
1:28:40	もう
1:28:41	そうですね、ちょっと、ちょっと教えていただきたいんですがすぐにわかりますでしょうか。
1:28:49	九州電力のモトムラでございます。すいませんすぐわかるところからちょっと申し上げますと、基準点の前Vsについてですけれども、こちらの 44 ページにつけてますけれども、
1:29:03	それぞれ 2 点分の
1:29:06	PS検層のデータとか最適化地盤の
1:29:11	グラフを載せてますけれども、こちら最適化地盤左のほうのITAG09 ですかね、こちらについては、Vsでいうと 2 から 4 番の間に入って 100 メーターを入れてますけど、3000 ぐらいのところ、
1:29:26	VSPと 3kmぐらいのところにありまして、右のほうのKJSH12. のところは、／線の最適化モデルについては、これも 2 と 4 倍に入ってますけど 3 を超えるようなところで、
1:29:42	両方ともですねVs3kmぐらいのところに設置されている地震計の観測点。
1:29:48	基準にしているところでございます。
1:29:51	ちょっとその他についてはですね、ちょっとすぐ回答できない状況ですので、ちょっと検討させていただきます。
1:30:01	規制庁タジマです。はい。そうしましたらこの 44 ページ、図データ一体どれくらいかというのは、今わかるんですができれば 34 ページに基準点の、そのVsですかね、最適化のしたものでもいいんですけど書いていただいて、
1:30:17	あとはその基準層をどうしているのか、そのまま各観測点のVSっていうのを地震基盤相当ということで、基準層に設定することもできると思うんですけど 3000 って決めてしまえば、そう。
1:30:32	変えられるものだったと思うので、そこが別途あればその条件もじゃあ続きしていただくと助かります。
1:30:54	はい。それで、規制庁のタジマなんですけれども 34 ページについてもう 1 点質問なんです、最後の結果、右下の緑線と赤線の比較で次元波動度波動論による地盤増幅率というのが、
1:31:10	友田ほか 2019 のこの緑の線を概ね
1:31:15	議論のほうを上回ってるという説明なんです、1Hzより上ですと、概ね大きいとは言えないのではないかとこのようにも見えるんですがここについてはどのように解釈されてますでしょうか。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:31:37	九州電力のモトムラです。一律に設ぐらいのところですかね。これいたかったのは全体的に見まして、河川のほうが概ね大きいというようなことをです。
1:31:53	ちょっと考えてまして、このような記載にさせてもらってますけども、
1:31:58	確かにおっしゃる通り細かく見ていくと、緑線がかかったりということありますけども、地盤増幅率の妥当性の検証という形では、
1:32:09	概ね大きいかないというふうに考えているところでございます。
1:32:20	規制庁ナイトウですけど、ね。
1:32:25	同じ、同じ結論がね、仙台の方にもあるんだけど。
1:32:29	仙台－36 ページなんだけど、川内は概ね大きいっていいような気がするんだけど。
1:32:36	玄海は何をもって概ねを聞いて、
1:33:13	九州電力モトムラです。全体的にと申しましたけども、こちらの図ですね、1Hzより短い周波数のところでありましたり、3Hzからじっくりつつ
1:33:26	の周辺とかですね、赤は周波数体力ではかなり大きいところがありましたので、概ね大きいことを確認と、
1:33:40	ような記載を、すみません、させていただいてるものでございます。
1:33:50	規制庁ナイトウですけども、今の
1:33:53	お答えだと多分大きいところもあるというふうにとったんだけど、そういうことでいいですか。
1:34:07	こちらの図を見ますと、大きいところもある。
1:34:11	ただ、部分的に狭い範囲ではありませんで、半分以上ぐらいは大きいところがあるかなっていうふうな認識でございます。
1:34:24	名と規制庁に対する
1:34:28	九州電力は今どう考えてるのかという確認ですけども、そうであればこのオウムに大きいというところをもうちょっと
1:34:37	評価としてどう考えてるのかもうちよっときちっと書けません
1:34:43	九州電力モトムラでございます。確かに今の記載だと正確ではないところがございまして、
1:34:50	ちゃんとですね、事実関係に基づいて記載させていただきたいと思います。ありがとうございます。
1:34:58	規制庁の確認ですけども、記載はちょっと後で直してもらうんだけど、概ね大きいところと同等なところがあるっていうそういう理解でいいんですか、皆さんの評価として、
1:35:11	どういう評価なんですか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:35:31	九州電力モトムラでございます。おっしゃる通りですね、大きいところもあれば、冒頭のところもございますので、そういう認識で我々おります。
1:35:43	ちょっと記載については、検討させていただきます。
1:35:47	。
1:35:48	規制庁の一つよろしくお願ひし、
1:36:29	規制庁タニです。
1:36:34	DG001 階のほうの 4 ページね。
1:36:39	地震基盤相当面の設定ということで、
1:36:42	VS2100。
1:36:45	の層状面に設定するってということで、これ書かれてるんですけどこれってあれですかね。理由ってというのは、
1:36:54	仙台で次回以降説明というのが同じようなコメントがあるんですけど、これも、
1:37:00	原価については次回以降説明しようと考えてるってということなんです。今何かお言葉として何かどういうふうを考えてるのかっていうのが何かあるんだったらちょっと聞かせて欲しいなって思うんですけど。
1:37:20	九州電力のモトムラです。地震基盤相当面の話ですけども、こちら原価につきましては先ほどありました 2100 の層状民事、
1:37:31	設定してまして、仙台の方につきましてはVS2155 層状面に設定してまして、同じようにVS2200 億切ったところで、設計はしてございます。仙台については次回以降、御説明すると記載する。
1:37:50	させていただいてますけども、今考えてるところとしましては、
1:37:57	地下構造モデル上Vs2200 のA層がございませんので、別途ですね、移動あれば、の観測記録がありますので、それをベースにVS2500 の層はどこにあるかっていう検討をですね。
1:38:12	まあ川内も玄海も同じようにしてまして、そっからの地盤増幅率が解放基盤表面までの地盤増幅率がどういう形になるかっていうのをし検討しております、それを見る限りでは今回の限界のようなVs2100 でありましたり、
1:38:31	仙台がVs2150。
1:38:33	もう層から増幅率を考慮したほうが、そして期にあるなると。
1:38:39	というようなところ手持ちで持ってございまして、その話を次回以降ですね説明させてもらおうかなというふうに考えているところでございます。
1:38:51	はい規制庁刀禰です。その辺が次回以降限界もあわせて説明していただくってということで確認できました。
1:39:32	機種 of イトウですけども、一方ねん、何で 2100 のところであわせばいいんですちゅうのはね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:39:42	次回なんですか。
1:39:43	まず最初のところと言ってもらわないとそこが合意できないっていろんなことやっても全部
1:39:51	作業無駄になっちゃうような気もするんですけども、
1:39:56	入っていく。
1:39:57	初回の
1:39:59	会合ではなくて、2回目以降の会合に持ち込むっていうのは、
1:40:04	どういう考え方といい、そういう選択をされてるんです。
1:40:17	九州電力の赤司でございます。これ説明の順番といたしまして、当社のほうで考えましたのは、まずは地下構造モデル今あまりきついメールの設定等ウーをご議論今日も
1:40:32	御説明させていただきましたけれども、まずは地下構造モデルの形を決めた上で、地震基盤相当面をその地下構造モデルのどこにするようっていうのが正次の議論かなというふうに考えまして、まずは地下構造モデルの議論ということで、
1:40:51	先ほど次回以降、
1:40:53	いうような
1:40:55	お話をさせていただいたものでございます。
1:40:58	当社として考えておりましたのは非常にございます。
1:43:22	通常のナイトウですけども、刀禰する全体のところでは 2200 ウー異常に対して 2150 のところに入れることの妥当性というところ、次回以降になってるんだけど。
1:43:36	これって今の
1:43:40	御説明ということであれば、考え方を推移できているっていうことなんだけど、詳細のやつは次回以降でもいいんだけど、どういう考え方でここでもいいんだとしているんですわ。
1:43:52	この資料にサンプルでもいいし、何でもいいんだけど入れられませんかというのをこのところが変わってしまって日数Eと 2200 を同定しますとかいう話なのかもしれないんだけどそれってそのモデルでいいのかどうなのかっていう話で、
1:44:10	速度構造から、Q値の話から、
1:44:13	給食だけだけど。
1:44:15	元モデル地下構造モデル維持直すっていう話にならないですか。
1:44:23	いや、なる可能性があるんであれば、
1:44:27	そこを先に結論しないと何か作業だけまたもう 1 回やりますという話になりかねないんだけど。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:44:36	そこはどう考えられているんですか。
1:44:54	九州電力なんか資料がございます。地下構造モデルをいじり見直しいじり直す撤回という表現があるかもしれませんがということになる場合が考えられるとすれば先代の境界もそうですけれども、2200 よりもふやし小さいところで選んでますので。
1:45:13	2200 ぴったりのところをなにがしかモデル上設定すべきではないかという議論になれば、おっしゃる通り、地下構造モデル維持直すような手前にまた立ち戻ると。
1:45:28	ということになるのかなというふうには考えます。ただ、当社といたしましては、もうその 2200 ぴったりというところをまた設定し直すのではなくって、あくまで多分をすぐの境界としては現行のモデルというのを線が境界で設定しておいて、
1:45:46	どこ介護基盤相当面としてどこへ落下っていうのはその次のステップで設定するというような考え方でやっておりましたので、
1:45:57	今御指摘がありましたような労基に戻っちゃうような岩石指定できないかと思えますけれども、
1:46:05	元に戻る局面があるとすればその 2200 ぴったりを改めて設定し直すという場合かなというふうには思いますが、
1:46:15	それで今、ナイトウさん、そういう場合があり得るのではないかと今私が申し上げたような場面、
1:46:21	胃癌念頭にございましたでしょうか。
1:46:24	そもそも私これ答えになってるかどうかなんですけど。
1:46:29	きちっとですけど、イトウなんか前もせん断によって、この前の週で 2200 を同定したところと同等であるからいいっていうような説明をしようとしてるんじゃないのでしたっけ。
1:46:43	そうだとすると、2200 ということがあり得るところで入れるべきだ。
1:46:52	2200 の位置っていうのが、本当に妥当なのかっていう話になりかねない。
1:46:59	かなと思っていて、いや、その下のところの
1:47:02	へえ。
1:47:05	3000 とか、
1:47:10	のところに入れますって言ったらまた話は違うんだけど。
1:47:18	九州電力の赤司でございます。今次回以降御説明食してるのが言わなきゃ申し上げました通り、仮に仮にと一波計算上は 2000 限界で下に 1145 下で 2200 で大体どの辺にありそうかというのを、
1:47:35	統計しに係ると大体ここにありそうだ。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:47:39	いうのをまずは計算をしてみているというものでございますんで、仮にそこに2200 ウーの1回基盤相当面において、標準応答スペクトルの評価結果がどうなるのって計算してみると、
1:47:54	今の2100の位置に置いてるよりも地震が評価結果が小さくなってしまいうってそういう小さくなるような選び方はしないでも2100AAに置いた形でやろうというふうに我々当社のほう判断をしているというものでございます。
1:48:12	それが次回以降説明しようとしてる内容でございます。
1:48:22	九州電力の赤司でございますので、何でそういうまどろっこし部でやってるかといいます、仮にこれVs2200のそうそう到底だけではもちろん同定だけで2500の層がこの辺だというふうに決めてかかるや決める。
1:48:39	判断をする場合は当社です、非常に難しいと。
1:48:43	いうふうに考えておりました、それをするとともにと到底だけではない。モリGナガノが非常に超詳細な調査が必要になってくるところがございますけれども、そうではなくて、
1:48:57	これまでの既往の調査等で明らかになっているものですね、2100をペースに店舗構成した上で、その深くなると、評価結果が小さくなる傾向にあるので、その傾向を持って2100でよろしいかなという判断を
1:49:13	それではしてるというものでございます。
1:49:56	いや、年目も議論になるから、あまり
1:50:00	このイトウ空中戦でやらないでちゃんと資料化して入れて欲しいんですよ。いやここ3100から2100モリ一気に速度落ちてるわけで、
1:50:11	要はとか3100のところ、2200ぐらゐを超えるそう
1:50:18	分離しますっていうんだ、それでもまた全体を同定し直さなきゃいけないんじゃないのっていう気もしないではないんだけど。
1:50:26	どういう考え方なのってどういう方針で説明しようとしてるのかってことはまず入れていただかないと。
1:50:36	スタート地点としての2200をこういうところを解放基盤
1:50:40	はい。
1:50:41	地震基盤相当と設定しているということに対して、
1:50:46	九州電力としてなんで2100でいいとしてるんですかっていうところ。
1:50:52	が、片つかないと、地下構造モデルっていうもう一度同定し直さなきゃいけないんじゃないんですかって議論
1:51:00	ニイ行きかねないと思ってるんですけども、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:51:08	九州電力、九州電力の赤司でございます。そっちいたしました。我々は先ほどちょっと地下構造モデルと科医基盤相当面の設計を直ステップ分けはしてしかしていたところでも結局、とどのつまり地下構造モデルとしての
1:51:24	佐賀市でも確かになりますのでそこはあとはもうちょっとことです。のやりとりにならないようにそこはしっかりちょっと資料に盛り込んで御説明できるようにちょっとクナガに直させていただきます。
1:51:36	以上でございます。
1:51:40	はい。はい。ちょっと
1:51:43	そこを、そこは考え方が我々と9電さんとギャップがあると。
1:51:53	またそこからスタートになりかねないので、そこをどう考えているのかってことはちょっとわかるようにまず費用に入れていただきたいと思います。
1:52:02	李とね等DBA等々同定の話、玄海の到底の話に戻るんだけど。
1:52:09	これね。
1:52:12	何ページ
1:52:20	刀禰応答は92.5等級100ウーの音はずっとね、観測記録に合わせてやって示してくれているんですけども、
1:52:32	26ページの熊本地方の16番のEWだっけ。
1:52:39	92.5だとちっちゃい評価になるんだけど、これって何か要因あるんですか。
1:53:14	九州ろうきんのもトムラでございます。確かにおっしゃる通りですね、この地震イベントについては、
1:53:22	赤線のほうが黒線より小さくなってるっていうところはあるんですけども、この要因についてはちょっとまだ
1:53:29	把握できてませんで、
1:53:33	ただ他の記録とか見ますと、火線が大きめに出てるっていうところがありますので、ちょっとすいません、何らかの要因で逆転してるのかなというふうには思うんですけども。
1:54:06	刀禰
1:54:08	規制庁の伊藤ですけども、要員をわからないとこれだけですよ。
1:54:17	時、
1:54:19	熊本地方
1:54:23	これだけ続くことは何らかの要因があるんです。
1:54:28	だと。
1:54:30	思うんですけども、
1:54:35	続いて、
1:54:43	規制庁のほうで佐々木の関連してる。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:54:46	コメント種多分お願いと思うんですが、今日ページのほうで、
1:54:52	地震リスト1か中級割れますね。
1:54:55	でもこの値を1月9回目の左の都度ば障害対応わからないですね、できれば、
1:55:02	もうわかるような
1:55:04	例えば1から添付9の左の
1:55:08	部分とわかるような指名していただければ。
1:55:12	例えば今回の16の地震が場所とこんな場所とか、
1:55:16	何か特異あるかどうかも多分、
1:55:19	要因分析も幸せと思いますがいかがでしょうか。
1:55:27	九州電力のモトムラです。9ページの確かに位置関係をちょっと明示しながら ちょっと要因分析
1:55:36	していきたいなというふうには思います。
1:55:39	ただ、なかなかちょっと難しいところがあるかもしれませんが、はい。
1:57:07	うちのですけれども、11ページのところなんですけど。
1:57:15	玄海終わりと。
1:57:20	議論と、
1:57:22	今回同定した理論と観測記録ってあって来てはいるんだけど、もうもたよく
1:57:32	このレベルで合わせ込みは良しとしたのは、
1:57:38	何か理由があるんですか。
1:57:39	もっと
1:57:41	観測記録に
1:57:43	を重視しますというのならば、
1:57:46	もっと吸込をしてもいいような
1:57:49	気はするんですけれども、このレベルで十分ですっていうのは何かクライテリア とかなんかあるんですか。
1:57:57	。
1:58:14	九州電力モトムラです。特にですねこの手のものでちょっとクライテリアとかい うものはないんですけども、今回
1:58:23	減衰の営推同定ということで、こちらについては、既許可モデル。
1:58:29	潜りSvそれと三つの層圧を決め打ちしまして、元帥だけを
1:58:37	同定にってるもんですけども、そういうところもあって、
1:58:43	BSだとかVpについては固定として既知のものとして与えているところもありま して、今回ちょっと厳正に特化した形で同定をしているもんですから、場所をち よっと合っていないところもあるかなとは思いますが、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:59:00	VSPも同時にですね。同定したら、多少は良くなるかもしれませんが、これ以上となかなか
1:59:10	あまり変わらないような結果は出てますので、ちょっとなかなか、結構限界があるといえますか。
1:59:19	そのぐらいの
1:59:21	II具合に今なっているところでございます。
2:00:51	えっとね、規制庁ナイトウですけども、ずっとねいわゆるなかなか固定しているカラム今度難しいんですっていう話。
2:01:00	今聞いたんだけど、逆に言うと9だけを観測記録重視
2:01:06	と言いつつ、じゃあなんで9だけをいじればいいという判断なんですか。
2:01:52	九州電力の赤司でございます。これご回答とかかなりちょっと実態いいベースで考えたところも含めてなんですけれども、例えばもう11ページのところをもっと合わせ込みにいくとすれば、
2:02:09	今回当初から同定していた旧値だけではなくて総務部の貯槽コース。
2:02:15	どうもちょっと精緻化するでありましたり、設置活動とか層構造見直す。
2:02:22	やはりVSPVのあたり値をもうちょっと細かく刻みであったりいろいろちょっとやはり、要はあったかと思えます。出たらちょっと今回当社向け取り組んだのが100取り組んだ材料としては、観測記録をもとにしてくれフロント沈黙埋めて地下の
2:02:39	かなり数が増えましたのでそれで同定できるという結果として、地下構造モデルのブラッシュアップを図ろうと。
2:02:48	いうふうにしたもので、これをUSBとかをいじりにかかるとすれば、例えばボーリングを掘って、PS検層やり直したとか、そういうデータがあればより補強しながら、地下構造モデルより細かく見直すこともできたんだと思うんですけどそこまで
2:03:04	のデータを用いて持ち得ておりませんでしたねこれかなり正直ベース、実態ベースのところではありますけども観測記録をもとにポウ点をする。そうすることによってブラッシュアップできるのはどこと考えて一つ減衰一つ目が厳正に
2:03:21	ターゲットを当ててそこをご提示かかってより良い
2:03:26	合わせ込みかかったらでどこまでたどり着けるかという検討をやったというものをでございます。
2:04:06	規制庁ナイトウですけども、限界はそういう考え方っていうのは変わりました。先代まだ設備きいてないんだけど。
2:04:17	とするとね。
2:04:18	川内は、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:04:20	なんでこれで観測記録とよく合っている。
2:04:23	ぜひ、
2:04:24	いう判断になってるんですか。
2:04:31	ここで議論するつもりはないけれども、Q値だけをいじっていると限界がある中で玄海は割と融解しました。
2:04:40	限界はあるけど、
2:04:43	という説明はわかったんだけど。
2:04:47	川内は、
2:04:50	観測値を重視して観測値に合わせこう言いますと言いつつも、
2:04:56	Q値の合わせ込みだと。
2:04:59	あまりあい込みが良くない状況の中で、何でこれで観測記録とよく合っている。
2:05:05	っていうふうに評価され、
2:05:32	いや、いや、逆にこっちが想定するに救急値だけをいじて合わせ込むとこれが限界なんですっていうケース仙台。
2:05:41	持ってっていう。
2:05:43	そういうことですかね。
2:06:09	九州電力のモトムラでございます。先代の結果について、確かに玄海に比べると、あまり合っていないような結果になってますけども、はできる限りですね、観測に合わせるような努力はちょっとした
2:06:24	しております、それで旧値のほうは、
2:06:30	想定しているというようなことでございます。
2:06:35	規制庁ナイトウです。ここで議論するつもりはないのでも議論は介護でやろうと思えますけど、だから、せん断に関して言えばQ値だけじるとこれがぎりぎりやって一生懸命やったりここまでしかありませんでしたっていう結果で寿都騒動思っとけばよろしいですか。
2:06:56	九州電力のモトムラです。その通りでございます。
2:10:14	規制庁クマガエです。
2:10:16	ちょっと仙台の話とかも出てきているんですけども、ちょっとまだ御説明はいただいてないんですが、仙台玄海基本的な考え方は同じなんじゃないかと思っておりますけれども、その
2:10:28	川内のほうで異なる点とかです、ね戦略で説明しとかなきゃいけない点とかっていうのもあるかと思っておりますので、
2:10:35	そういった点で剪断についてもちょっと御説明いただければと思いますけども、いかがでしょうか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:10:46	九州電力のモトムラです。そしたら仙台の方の資料をもとに掻い摘んでになりますけども、ちょっと差分
2:10:54	を念頭にですね、ちょっと御説明させていただき、
2:10:58	そしたらPTS003 の資料に基づいて御説明させていただきます。まず開いていただきまして、
2:11:08	2 ページ目が目次 3 ページ目が 6 月 11 日のコメント書きコメントのリストを載せるところでございます。
2:11:17	こちらについては、1 について地下構造モデルの話がございますのでこちらを今回の資料にしております。
2:11:26	それと、5 番目の初回以降の観測調査分析などについて説明することと、こちらデータ更新の話もあったかと思いますが、こちらについては
2:11:38	出す資料で適宜反映していきたいと考えております。
2:11:43	問題につきましては、
2:11:47	ちょっと飛びますけども、6 ページからが観測記録の分析になります。こちらについて、気配りの震災以降、59 地震が加わりまして、計 149 地震、
2:12:01	いうふうになっておりますけども、先ほど玄海のほうでちょっとご説明しましたけども、新たにまた速記録を再整理しまして、前回と同じように、一つ指針が増えまして、449 地震、
2:12:17	というような形で記載させていただいております。
2:12:22	7 ページですけども、こちらは許可の審査で主な御地震PRA同定された減衰の結果を示しております。こちらについては、Qdと5点。
2:12:34	いうふうになっております。
2:12:37	ちょっと飛びまして、10 ページ以降が、
2:12:41	評価以降に取得した観測記録を加えた二重地震のパスを教訓に、
2:12:47	よります。
2:12:49	伝達関数により検討をのページになります。
2:12:54	11 ページが解析条件を示しているところでございます。限界ということになるところとしまして、ターゲットするターゲットする観測伝達関数のA3 の長さです。
2:13:07	が完成ということを全館を使用してるっていうところはありません。
2:13:13	12 ページにつきましては、
2:13:17	その同定結果を示しておりますけども、こちらで言いますと、急崖 5.9 というような結果になっております。
2:13:25	13 ページからは時は干渉法の地盤減衰の推定の御説明になります。
2:13:33	15 ページに開設条件を示しておりますけども、こちら玄海と全く同じになっております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:13:39	16 ページが 9 機の推定結果ですけれども、こちら見ていただくと発電というふうになっております。
2:13:49	17 ページが原発完成により、
2:13:54	検討しておりますので、
2:13:57	こちらにつきましては、玄海と同じような検討をして、防災の
2:14:04	検討しておりますしてQ値を 12.5 と設定してございます。
2:14:10	18 ページが、また妥当性検証ということで、伝達関数による検証をしておりますしてこちらについても、玄海同様で
2:14:23	妥当性の確認をしているところでございます。
2:14:28	で、19 ページが応答スペクトル見る現象ということで、玄海と同じような検討をしておりますので、
2:14:37	こちらについては、20 地震を 19 ページ以降から、
2:14:47	29 ページの応答スペクトルの比較をしているところでございます。
2:14:53	続いてですね、30 ページ飛びますけれども 30 ページになりまして、前のページまでで設定したQ値の設定範囲を検討になります。検討内容としては、玄海と同様ですけれども、31 ページから 33 ページ目。
2:15:08	原子炉設置位置付近の速度層断面を示しております。
2:15:13	これを見ますと、鉛直アレイ地震計が設置されているいえるマイナス 118.5 より浅いところといえるマイナス 118.5 メーターからいえるマイナス 200 メーターまでの範囲につきましては、⑤の速度層に分類されてまして、両者の統一も
2:15:32	ソフト層区分であること。
2:15:34	これを踏まえまして、鉛直アレイ地震／スプロケットに基づき設定した地盤減衰Q値を 12.5 といえるマイナス 100 メーターまで設定してございます。
2:15:48	34 ページ以降がいえるマイナス 200 メーターまで設定した地盤減衰Q値の妥当性について、玄海と同様友沢ほかの地盤増幅率との比較から検証を実施しております。
2:16:02	36 ページ
2:16:03	に右下どう示してますけれども、主さんほかの地盤増幅率より概ね大きいことが確認できていると。
2:16:17	以上踏まえまして、37 ページに、
2:16:20	今回選定しました地盤モデルと
2:16:26	まとめをしているところでございます。
2:16:29	38 ページからは地下構造モデルの地盤減衰を精緻化したことによる特定指定の影響についての御説明になります。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:16:39	既許可におきましては、現行の S_s-1 の策定に当たりまして経験的グリーン関数法と地下構造モデルを用いた理論的方法とのハイブリット合成法を実施しております。
2:16:53	で、そこで今回ですね、変更しました地下構造モデルを用いまして、再度 39 ページ、A41 ページで、
2:17:01	理論的方法。
2:17:04	の
2:17:05	地震動評価を実施しまして、経験的グリーンパースレポートのハイブリット合成法による評価結果を
2:17:13	示しているところ。
2:17:15	また許可におきましては、地下構造モデルを用いた統計的グリーンたんすレポートを理論的方法とのハイブリット合成法により、妥当性確認をしておりますので、
2:17:28	今回の地下構造モデルを用いて再度さ 43 ページ 44 ページで
2:17:34	統計的グリーン関数法と理論的方法とのハイブリッド合成法による評価を実施しております。
2:17:40	その結果、特定指定の影響がないと確認しております。
2:17:47	39 ページ、40 ページ
2:17:53	につきましては、今回の地下構造モデルを用いて理論的方法による地震動評価を実施しまして、経験的グリーン関数法とのハイブリット合成法による評価を実施した結果、
2:18:07	それぞれですね、緑センター汚染今回が青線になりますけども、ほとんど変わらない。逆に沿います絵と長周期のほうになりますと、緑のほうが若干大きい傾向になっておりますけども、
2:18:24	評価のハイブリット合成法等をね、あまり変わらない。
2:18:28	ような
2:18:29	結果になってございます。
2:18:31	仙台の方につきましては、断層モデルの評価というのが基準地震動 S_s になっておりませんで、特定してのほうは、応答スペクトル法に基づく、 S_s-1 。
2:18:45	いうものを策定してまして、この大小関係からしても、再評価したとしても、基準地震動 S_s-1 に包絡されることを確認しております、地下構造モデルことによって結果は変わりますけども、 S_s については、
2:19:02	影響がないというふうに考えているところでございます。
2:19:07	続きまして、43 ページ 44 ページになりますけども、こちらは

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:19:14	はEGFの妥当性検証ということで、ENDFと理論による評価とSGFと理論による評価を今回の地下構造モデルを用いて実施しているところでございます。こちらの図については赤線が、
2:19:30	許可のinchプラス議論
2:19:34	で、その妥当性の検証として、緑線、青線、それぞれSGFと理論になりますけれども、許可時審査で示しておりますのが緑線、青線が今回近く、今回の地下構造モデルを用いた
2:19:49	評価。
2:19:51	ということで、緑と赤を比較します。緑と青比較しますと、若干青の方が下回っているところでございますけれども、
2:20:01	レベル感としては、
2:20:05	ほぼ同等でございまして、赤線を超えるようなところ、真ん中NS方向でいいますと0.2秒から1秒ぐらいのところ、
2:20:15	だぶり方向も、そのような周期体もありますけれども、
2:20:20	基準地震動 S_s-1 と比較しますと、
2:20:25	それに包絡される結果になってございますので、妥当性EGFの妥当性検証という観点からも妥当かなというふうに再確認できた。
2:20:38	思っているところでございます。
2:20:42	最後に前回と同じように、参考として友沢ほかの弊害を示させていただいております。
2:20:50	以上でございます。
2:20:54	規制庁ナイトウですけれども、これもさっきの原価って一緒なんですけれども、論理構成として、地下構造モデルは、
2:21:05	変えた1本にするのか。
2:21:10	二つ設定するのか。
2:21:15	どっちなんですかね。いやそれによってだいたいいい部署にも書いてあるけども、ほとんど変わらないとは言いつつも、
2:21:23	地震凍るか特定しての地震の応答スペクトル、断層モデルの音スペクトルは変わるんですよね。
2:21:33	それを変更するとするのか。
2:21:37	もしくは、
2:21:38	いや、特定してるやつは特定してどう用の
2:21:45	あれもそう、そうじゃないのか、こっちもEGF使って、
2:21:51	ETF検証用のモデルとしてのやつを変えるのか、変えないのか。
2:21:58	SGF用のモデルとして特定しているの。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:22:03	EGF検証用のもの等、
2:22:08	特定せずの
2:22:11	標準応答スペクトル用のやつを二つ設けるとするのか。
2:22:16	一方設け、
2:22:18	今回のやつに統一するとするのか。
2:22:22	それによって多分申請書の添付 6ー 特定してるところの書き方って変わるんですよね。
2:22:45	九州電力のモトムラでございます。地下構造モデルについては、特定してのモデルと今回新たに変更したといえますか、標準応答スペクトルをの地下構造モデルとして今二つ、
2:23:01	あるというような
2:23:04	そうでございます。
2:23:37	既設の意図ですけど、確認なんですけどところ。
2:23:41	SGF用の地下構造モデルっていう二つあるんだけど、二つとも妥当と評価してるっていうことなんですかね。
2:24:56	東京九州電力の赤司でございますので、ちょっとこちらへ話をして回答が遅くなって申し訳ございません。
2:25:03	今改めて我々の中で話をしてもちょっと論理構成綺麗に整理できてないよねっていう話をしたところでございますが、
2:25:12	そもそもこの地下構造モデルについては、もともとSTSsとか基準地震動を2位の計算に直接は関わってないんですけどもその検証するための地下構造モデルというものを持っておりました。
2:25:27	それに対して今回、国鉄標準応答スペクトルを検討するための地下構造モデルを新たにもう一つ設定をいたしました。
2:25:38	いうことになっていうことなんですけれども、じゃあ最後SGFの検証までやるのは何もそこが入口は分かれてモリまた、
2:25:47	決議また一緒になってるじゃんというのがあって、我々の中でもすいません今話をしてて、こっちのモデルのどっちの話をしてんだというのがちょっとすいません。
2:25:57	混乱してたところがございます。これ気持ちとしては何で数件とかでやったかという我々も入口で特定するの研修検層特定してのほうの検証用と特定せずに標準応答スペクトル用ということで、二つのモデル切り分けたところではございますけれども、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:26:13	とは言いながら、二つのモデルが存在するので、特定接続効果特定しての方に仮にもってたらどうなるのでこれは当然議論はあるところだろうということで、その最後の47ページの方で鋭意検討してたところを
2:26:31	特定施設特定するのに影響が及ぶのか、実質的な実質的なというか、計算してみたらこうなるのがいいと言われるような話になるのかということ整理して整理したというものでございました。
2:26:45	そこが先ほど私まだ自分で申し上げた通りの出入口でモデルそれぞれの二つのモデルと切り分けているのに、市ナイトウさんからご質問ありましたようなSGF用モデル、二つある。
2:26:57	というような話になってしまっておりますので、ちょっとそこは改めて我々の中でもちょっとここは綺麗に整理した上で、説明御説明ができるようにちょっと飛びたいと思います。ただ実態としては、そういう二つのモデルを切り分けているとは言いながらも、
2:27:15	他方、片方に持ってたらどうなるだろうっていう話にはなる特定し、節のほうで今回新たに設定したモデルが特定してる方に持ってたらどうなるのっていう話になるので、この検討をやってたっていうのが実態でございます。
2:27:30	以上でございます。
2:27:49	ちょっと規制庁ナイトウですけれども、どうすっどいう形じゃなきゃいけないっていう話を我々は現時点で特に答えはないですけどもってはいないんですけども、同じ地盤でいい。
2:28:02	という同じSGFという形を使うときに、
2:28:07	特定しての検証用と。
2:28:11	特定せずという地震動をつくるもの。
2:28:17	という形で様とは違ってはいるんだけど、同じ地盤と同じ手法に用いる地盤モデルが二つ存在するという申請になっていて、
2:28:33	そうするとそれっていう
2:28:40	どっちも妥当なんですか、どっちかは妥当じゃないから変えたい変える必要があると考えるんだけど、変えなくても問題がないのか、一級でした。どう考えてるのかっていう考え方のスタッフだけちょっと明確にして欲しいんですよ。
2:28:58	九州電力なんかしてございます。おっしゃった通り、同じ登用とは違ってても同じ地盤に対して二つのモデルが
2:29:06	いう状態になってるのは先取り事実関係そうございまして当社としてどう考えてるかといいますと、当然観測記録等を加えまして、今回表情とスペクトル計算をするために、
2:29:21	モデルを

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:29:24	設置可という言い方をしてましたけども銀行しブラッシュアップしてる当然我々としてはこちらの方が新たにつくったモデルのほうがより妥当なものであるというふうに考えてるところでございます。特定してのほうに適用してたモデルまでモデルも含めて、
2:29:43	変更するののかということについて、当社のほうで考えましたところは、一つは、そういうふうにモデルを変更をすると、これまで検討した結果、結果的にSsウーを変更することにならないんですけども。
2:29:59	これまでの評価結果を小さいほうに変更するということになるものであるということと、これ
2:30:09	いうその評価結果につきましては一旦許可をいただいてこれまでも運用してたところでもございますので、そこをもう1回にかかるということまではせずにこれまでの評価結果は、保存した上で、新たに追加する。標準化スペクトル。
2:30:26	についてこの地下構造モデルをもとに移行するという形にしたというものでございます。すみませんちょっと私の説明資料がちょっとわかりにくいかと思えますけども、
2:30:40	技術的な妥当性としては今回ブラッシュアップしたモデルが妥当であろうというふうに考えているところでございますけれども、過去の評価結果を小さいほうに変更しにかかるかということについては当社としてはそこまでしないので、
2:30:55	過去の評価結果保存するために過去のモデルはそのまま保存すると。
2:31:00	いう判断をする考え方に寄ったというものでございます。
2:31:06	以上でございます。
2:31:10	規制庁良い悪いとかを我々それを問う儲かったら介護出る議論だと思うんです。
2:31:16	ですけれども、いずれにしろ、九州電力としてどういう考え方で、
2:31:23	どうしてるんだっていうのはちょっと所書面上明確にしといていただけますか。
2:31:32	研究室レベルがアカシで初期ですとか、ちょっと資料としてはっきり水できるようにいたします。
2:32:05	規制庁クマガエです。
2:32:09	仙台-30 ページのほうですね。
2:32:12	地下構造モデルの設定において、
2:32:17	本震約mまでの範囲のところ⑤速度層、
2:32:21	何とかマイナス 28.5 から、
2:32:25	マイナス 100mの⑤層として、
2:32:28	それされてですね、特に
2:32:33	速度構造が同じであると。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:32:35	ということで、同時にしてらっしゃるんですけども。
2:32:39	このマイナス 200m以降のところですね。
2:32:43	VsとかVpとか、そこら辺は全く同じなんですけども。
2:32:49	そうどうしてに出しとして、
2:32:51	区分を分けられてるんですけども。
2:32:53	ここら辺の、どうして分けられてるのかっていう理由をきちんと御説明いただければと思いますけどいかがでしょうか。
2:33:03	九州電力のモトムラでございます。ELマイナス 200 メーターで区切って二つ二相分けてるわけですけども、我々PS検層として直接ボーリング等で把握するのはいえるマイナス 200 メーターまで
2:33:19	速度層としては、それに続いて、深いところいえるマイナス 200 メーターまでやっぱりところまで、同じような層が続くかもしれませんが、直接把握してるところがございませんので、地震計が設置されている層が直接、同じような速度層というのを、
2:33:37	考えたときに、直接関わってくるU-200 メーターまでにまでを同じようなQ値 12.5 というふうに設定してまして、それより深いところについては、所管の減衰の値をそのまま
2:33:54	してるということで、物理現象としてはちょっと層厚構造として分割するっていうのは、ちょっと違和感があるのかもしれませんが、評価自体については、内ところへ消火のそのままにするっていうところは、
2:34:12	補正もあるかと思しますので、わかるところまでを 92.5 というふうな設定させていただいているところでございます。
2:34:26	規制庁クマガエです。でもその速度構造としては、
2:34:31	特に変わらないと思ってるんですけども
2:34:36	測定方法、
2:34:38	地震観測記録ですとか、あとはPS検層とか、そういった
2:34:43	測定方法によって確認されているところとそうでないところによって、
2:34:49	御社としては分けられてると。
2:34:51	そこは、
2:34:53	そういったところと、どっか書いてあるんですけども。
2:35:15	規制庁クマガエです。四つの丸で先ほど〇最後までこれを踏まえて書かれてはいるんですけども。
2:35:26	こういうことやりまして、こういった検査をして確認しましたということなんですけども。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:35:31	そして、この中でこういった観点で分割されてるのかっていうのはですね、明確にしていただければと思う。
2:35:49	九州電力モトムラでございます。一応設定の流れとしてはELマイナス 200 メーターまでのPS検層データへ直接わかるようなデータに基づいて策定する流れについては記載させていただきますけども、こういった観点とか、ちょっと明確じゃないところは、
2:36:06	ございますので、ちょっと検討させてください。
2:38:01	規制庁ナイトウですけれども、
2:38:04	うーん。
2:38:07	ちょっと違うこと 20 ページですねさっきの玄海と一緒にただけど。
2:38:13	②の鹿児島県北西部の地震、
2:38:17	これ、これだけかな。9、
2:38:22	中央 12.5 にすると、NS方向がちっちゃくなる。
2:38:28	あとは大きいか、ほぼほぼ同じようなレベル感という話になってる。
2:38:33	これはもう何か理由があるかどうかってのは、
2:38:38	現状わかっていないってことですか。
2:38:43	九州電力のモトムラです。この②についても、ちょっと位置関係とか、もう 1 回ちょっと整理してですね、ちょっと分析したいと思います。
2:38:52	すみません。
2:44:41	規制庁クマガエです。
2:44:44	どう。
2:44:45	出ませんだについてもですねちょっと玄海のほうでお話したような内容等も多いような形がかぶるような話がありましてそこら辺についてはもう玄海のおきにお話していますので、変えて、
2:44:59	洗練についても言いませんけども、そこら辺の
2:45:03	例えば最初のところで、
2:45:06	VSの
2:45:08	2150 とか言ってるところとかですね、そういったところについてもきちんと整理していただいたりとかですね、スムージングとか関係とか友田ほかの関係とかですねそういったことについてもですね。
2:45:19	きちんと仙台の方でもですね、ちゃんと整理をしていただければと。
2:45:23	思っています。
2:45:25	ちょっとその仙台玄海両方ともですねそういった点、観点でですね、きちんと再度整理をしていただいて、
2:45:32	また御説明いただければと思っております。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:45:35	添付
2:45:43	ちょっとそこら辺をですねまた再度検討していただいて御説明いただければご連絡いただければと思いますけども、
2:45:49	御社の何か確認した意見等ありますでしょうか。
2:45:58	九州電力のモトムラでございます。本日のヒアリングを踏まえまして先ほどの県とか含めましてですね、ちょっと検討させていただいて資料を落とし込んで御説明させていただきたいと思います。プレ以外特に当社のほうから
2:46:14	ありませんので、はい、どうもありがとうございます。
2:46:17	はい、規制庁クマガエです。では、また資料整えていただいてですねご連絡いただければと思いますけども、
2:46:24	ちなみに
2:46:25	大体どれどれぐらい時間かかるかとか、そこら辺はちょっと検討あるかもしれませんが、もしわかれば、メールでも教えていただければと思いますがいかがでしょうか。
2:46:40	金州で求められてございます。今ちょっとどの程度かっていうのはちょっと難しい話なんですけど少なくともちょっと1週間程度でどうにかなるっていう話ではちょっとございませんので、ちょっと去る検討させていただいてまたご連絡差し上げるとい形で申し訳ありませんがよろしく願いいたします。
2:47:02	規制庁クマガエです。はい、承知しました。それでまた
2:47:06	いう形ですねまたご連絡いただければと思いますのでよろしく願いいたします。
2:47:11	それでは本日のヒアリング、これで終了証書持ち出さないとですけども、2000台がだから初回会合をやって大分間行っちゃってる形になっているのってあんまり間をあけてもしょうがないと思っている。
2:47:24	だから、ちょっとどういうスケジュール感でっていうのはちょっと早目に1回教えていただけると助かるんですけど。
2:47:30	よろしいですか。
2:47:34	シーベルトモトムラでございます。承知いたしました。
2:47:43	規制庁クマガエですそれでは本日のヒアリング終了いたします。ただそうでした。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。